

## 「2017年度北海道退職者連合“元気な高齢者”活動紹介」

### <同好会活動> 北海道労働金庫朋友会

○代表 吉村 正

○参加者 16人～46人 年齢60～85歳 平均64歳

○活動の目的

健康管理 心身と心の健康

趣味 ストレス解消によるリフレッシュ

仲間意識の醸成

○具体的活動内容

(同好会名)	(設立年)	(活動回数・年)	(参加者)	(年齢・歳)
ゴルフ同好会	1998年	2回	46人	60～85歳
パークゴルフ同好会	2009年	7回	31人	60～77歳
山登り同好会	2009年	6回	23人	60～77歳
山菜採り同好会	2009年	6回	16人	60～77歳
釣同好会			16人	60～77歳
磯釣り	2009年	5回		
船釣り	2009年	10回		
そば打ち同好会	2009年	12回	18人	60～77歳
昼カラオケ同好会	2012年	18回	27人	60～77歳

- \* 会員の趣味による連帯、健康づくりに8同好会を組織して活発に活動されている。若い方の参加は継続を可能にする力であり、他組織の範となり、参考となることから今年度の表彰対象とする。

### <室蘭こども環境・平和を創る会> 室蘭退職教職員協議会

○代表 三浦 幸夫 0143-23-5262

○参加者 教員退職者8名 70代後半～82歳 1998年から活動  
室退教のメンバーを中心に、現職(50代後半)の数人が活動に協力参加。

○活動の目的

主に「戦争」を語り継ぐ活動の推進。戦争体験者の話を伺い、それをもとに約35～40枚、35分程度の紙芝居を作成して上演、上映する活動で、戦争の悲惨さ、被害・加害の現実、環境問題などを伝えている。

上演対象は学校と地域の団体など多様。戦争体験の語りべは70代後半から90代、70～80人の方にお会いしている。この20年間でお会いした方の7割がなくなっている。

#### ○具体的な活動内容

- ・ 1999年から毎年1作品を作って上演（上映）会を行っている。
- ・ 伺ったお話をもとに脚本、紙芝居、資料の作成にはメンバーでの検討も含め10ヶ月。
- ・ 現在までに16作品が完成し、スライド、CDなどに編集。紙芝居作成は2014年が最後。
- ・ 上演は、2010年前半は札幌、滝川、赤平、北見で年間20会場での上演会を実施。その後西胆振を中心に8～10会場で上演。毎年7月に行われていた室蘭市民上映会（80～100名規模）も2014年が最後。現在は「出前活動」を行っている。

#### ○おもな作品

- ・ 1999 **幻の八丁平飛行場** 八丁平飛行場建設に勤労働員された中学生の体験
- ・ 2000 **流れる雲に** 部下が行った捕虜虐待の管理責任で死刑となった所長
- ・ 2001 **イタンキ浜の祈り** 艦砲射撃で500人の死者が出た町
- ・ 2002 **歴史の真実をひらく** 1,860人の中国人強制連行者の3割が室蘭で失命
- ・ 2004 **桑の木のある丘で** 空襲の防火対策のために家屋が  
打ちこわしに
- ・ 2009 **青い目の人形** アメリカからの友情の人形が敵国人形として処  
刑される
- ・ 2013 **イタンキ浜夏物語** 3. 11東北大震災直後の浜。  
東北の子らが
- ・ 2014 **伊達平和の鐘** 薄鉄道病院で患者と職員の命を  
空襲から守った鐘

\* 憲法改悪、自衛隊海外派遣、共謀罪など反動的な政治情勢の中で、地域の戦争体験を伝承する活動が大きな感動を人々に与えている。こうした取り組みは貴重なもので、これからこの活動を広げていくのが大事な活動になっていくことから、今年度の表彰対象とする。